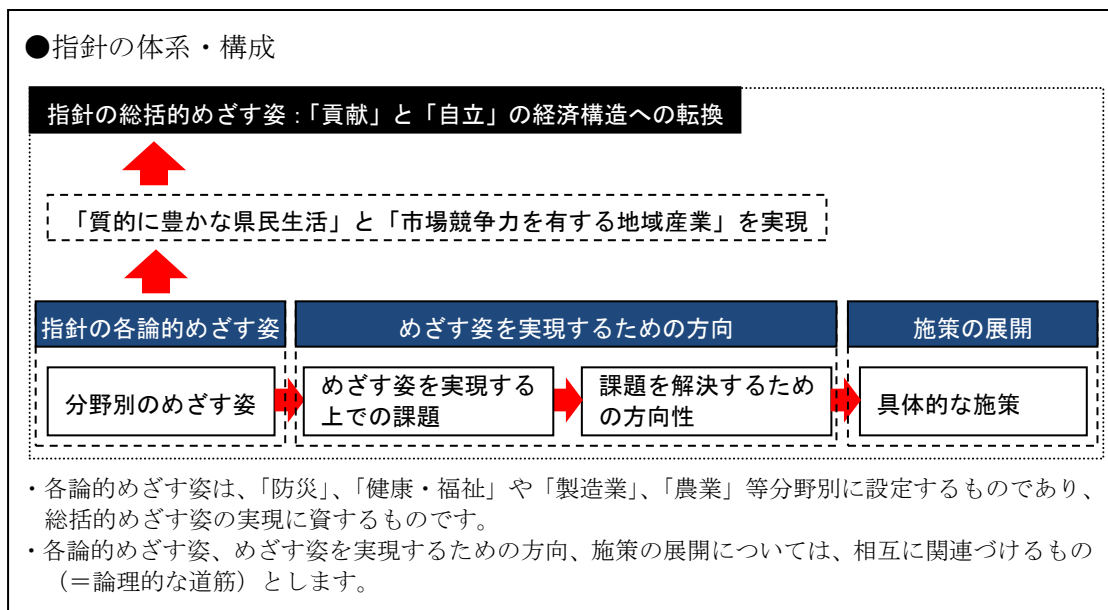


## 第3章 めざす姿実現を促進するための政策的アプローチ

### 1 指針の体系・構成

指針の総括的めざす姿や総括的めざす姿のもとに設定する各論的めざす姿（＝「防災」、「健康・福祉」や「製造業」、「農業」等分野別に設定するものであり、総括的めざす姿の実現に資するもの）を実現するための道筋を論理的に提示する体系・構成とします。



### 2 指針の各論的めざす姿を実現するための政策的アプローチ

指針の各論的めざす姿を実現するための政策的アプローチは分野別に異なることから、以下のとおり二通りに整理し、指針の体系・構成に位置づけます。

#### 【指針の各論的めざす姿を実現するための政策的アプローチ】

##### 政策的アプローチ①：地域課題の解決からのアプローチ

科学技術を振興し、地域課題を解決することによって、県民の福祉の向上を図る（＝「貢献」）とともに、県内経済社会の発展につなげ（＝「自立」）、経済構造の転換実現を促進する。

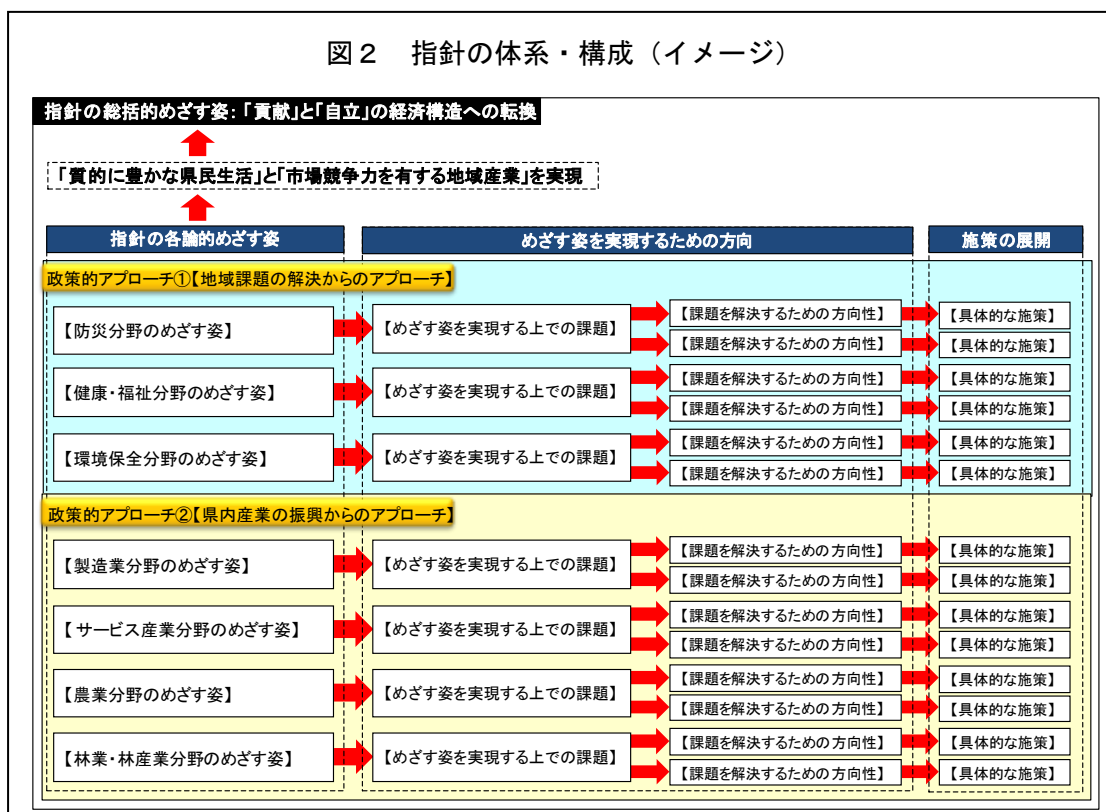
⇒該当分野：防災、健康・福祉、環境保全

##### 政策的アプローチ②：県内産業の振興からのアプローチ

科学技術を振興し、県内産業の振興を図ることによって、県内経済社会の発展（＝「自立」）と県民の福祉の向上につなげ（＝「貢献」）、経済構造の転換実現を促進する。

⇒該当分野：製造業、サービス産業、農業、林業・林産業

図2 指針の体系・構成（イメージ）



### 3 施策の展開

本指針では、地域課題の解決に重点を置くこととしており、指針中にはめざす姿を実現する上での課題や課題の解決に資する施策の展開などを提示しています。提示している施策の展開には、その実施により直ちに課題の解決につながるものばかりではなく、解決方法等について調査・検討を実施するなど、今後課題の解決に挑戦していくもの（今後展開の可能性（＝可否）を調査・検討するもの）も含まれています。また、施策を展開するにあたっては、課題の解決手法をビジネス化する企業や科学技術を創出する大学、産業支援機関等関係機関の協力を得ることも必要となります。

### 4 県関係部局名の明記

県民や企業などにとって、より分かりやすい指針とするため、提示する施策の展開の部分に、めざす姿の実現を使命とする部局や施策を展開する上で主導する役割を担う部局等関係する部局名を明記します。

## 5 指針の各論的めざす姿を実現するための具体的取組

次頁以降、指針の各論的めざす姿を実現するための具体的な取組（＝各論的めざす姿、めざす姿を実現する上での課題、課題を解決するための方向性、施策の展開）について、政策的アプローチ別にフロー図により提示します。

各論的めざす姿を実現するための具体的取組の掲載頁

分野	めざす姿	頁
防災	迅速かつ正確な災害情報の収集・共有・発信を行う仕組みの強化により、適時的確な避難行動ができる地域社会の実現	8 頁
	インフラ施設の老朽化による事故等が発生しない、安心して暮らせる地域社会の実現	10 頁
健康・福祉	全国トップレベルの健康長寿の将来にわたる継承・発展の実現	12 頁
	誰もが住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせる社会の実現	16 頁
環境保全	省エネルギー化が進み、自然エネルギー利用が普及した地域社会の実現	20 頁
	資源の消費抑制や有効活用が進み、廃棄物の環境への負荷が低減された循環型社会の実現	22 頁
	良好な水・大気環境が保全された地域社会の実現	26 頁
	生物の多様性が保全された地域社会の実現	28 頁
	気候変動に適応する技術開発により、地球温暖化による被害が抑制された地域社会の実現	30 頁
製造業	先進的な科学技術の活用による市場競争力を有する「貢献」と「自立」のものづくり産業の実現	32 頁
サービス産業	競争力（生産性及び付加価値）の高いサービス産業の実現	40 頁
農業	高品質な農産物の安定生産と、生産コストの削減による、農業所得向上の実現	46 頁
	国内外で認められる信州産農畜産物のブランド化の実現	48 頁
	美しい農村景観や豊かな農村環境が維持・創造される農業・農村の実現	52 頁
林業・林産業	高収益・高効率の自立した林業の実現	54 頁
	きのこや山菜などの特産物の振興による地域経済の活性化の実現	62 頁
	木質バイオマスの活用による地域経済の活性化と循環型社会の実現	64 頁
	農林業及び自然環境等に対する野生鳥獣による被害軽減の実現	68 頁